

シンフォニー（交響曲）には、みんなの声を響き合わせたいという想いが込められています。

Symphony vol.40



がくとくんの妹
おんぷちゃん



福島県郡山警察署



郡山市立柳橋保育園



郡山市イメージ
キャラクター
がくとくん



福島県立郡山北工業高等学校トマト研究チーム

特集

P2.3.4.5

輝く理工系女子
スペシャルインタビュー
～知りたい！理工系女子のホント～

P6.7

第12回郡山市男女共同参画
フェスティバルレポート

P8

男女共同参画課からのお知らせ



男女共同参画課からのお知らせ

6月23日～6月29日は郡山市男女共同参画推進週間です！

郡山市では、国に合わせて6月23日から6月29日までの1週間を「郡山市男女共同参画推進週間」と定め、この期間中、川柳コンクールやさんかくプラザでの記念講演会等の様々なイベントを実施します。皆さまの参加をお待ちしています。

第11回 男女共同参画川柳コンクール作品募集

日常の中で、男女間の「あれ？」「こうだったら良いのに」「これはいいね！」と感じていることなどを川柳にしてみませんか？

応募資格 市内在住・在勤・在学の方

募集期間 5月12日（月）まで

応募方法 はがき・FAX・Eメール・または専用応募用紙で、男女共同参画課まで

◎小・中学生、高校生、親子の部へご応募いただいた方へは参加賞があります。

第6回 家事するあなた（男）はカッコイイ！！フォトコンテスト作品募集

カジダンってステキ♡♡ 家事を頑張る、そんなイケてる男子を激写！

応募資格 市内在住・在勤・在学の方

応募作品 カラープリント2Lサイズ以上

募集期間 5月20日（火）まで

応募方法 郵送またはさんかくプラザへ直接

宛先 男女共同参画センター（さんかくプラザ） 〒963-8876 郡山市麓山二丁目9-1
電話024-924-0900

市民自主企画イベント募集

人権や男女共同参画に関する講座やイベントを企画してみませんか？

対象 市内で活動していて、企画から準備、広報、当日運営等、自主企画が可能なグループなど（講師謝礼等はさんかくプラザが負担いたします。詳しくはお問い合わせください。）。

募集期間 6月2日（月）まで

応募方法 郵送またはさんかくプラザへ直接

宛先 男女共同参画センター（さんかくプラザ） 〒963-8876 郡山市麓山二丁目9-1
電話024-924-0900

女性人材リストにあなたも登録しませんか？



郡山市では、各種計画の策定や市政運営などの政策方針決定の場に、市民の皆さまに参画していただくため、審議会や委員会を設置しています。この審議会等に、女性委員を積極的に登用するため、委員候補者を登録した「女性人材リスト」制度を設け、随時登録者の募集を行っています。

審議会等は、教育、福祉、環境など様々な分野がありますので皆さまの知識や経験を市政に反映させる絶好の機会です。ぜひご登録ください。

対象者

市内に居住又は勤務する20歳以上の女性の方で次に該当する方。
○経済、教育、福祉、環境、建築、土木、農業、商業、観光などの各分野の専門的知識や技能をお持ちの方
○市政について関心があり、審議会等に参加する意欲のある方

登録方法

「人材リスト登録同意書」に必要事項をご記入の上、男女共同参画課へお持ちください。
※「人材リスト登録同意書」は、市ウェブサイトからダウンロードできます。

「男女共同参画」を目指す拠点施設

郡山市男女共同参画センター

さんかくプラザ

〒963-8876 郡山市麓山二丁目9番1号
TEL：024-924-0900/FAX：024-924-0904
Eメール：sankaku@bunka-manabi.or.jp

さんかくプラザでは、学習や交流、情報収集、相談などができますので、どうぞご利用ください。

主な施設 研修室・調理実習室・交流室・会議室・和室・集会室
利用時間 午前9時～午後9時 休館日 毎月第3日曜日及び年末年始



この印刷物は、環境にやさしいFSC®認証紙と植物油インキ、UDフォントを使用しています。紙リサイクル可。



海外での研究生生活を経験されていますが、男女の待遇等について日本と比べて差はありますか？

待遇ではないのですが、欧米では生活の中でレディ・ファーストが身に付いています。例えば、エレベーターに乗る時やドアでは、必ず男性が譲ってくれます。慣れない頃は戸惑ってモジモジすることがありましたが、遠慮していると後ろがつかえて迷惑なので、サッと行くようになりました。そういう習慣に慣れて日本へ帰ってきたら、逆にでし・やばりに見えてしまってます（笑）。

研究の面では、欧米では性別に関係なく女性もどんどん発言をします。そういった経験は、日本に帰ってから役立っていると思います。議論する時なども、相手が女性でも容赦しません。日本では女性は少ないから、男性が少し手加減してくれているようなところがありますが、欧米では、そういったことはなく、むしろ強い女性に対しては更に強く言ったりもします。

海外でも、発展途上国などでは、女性蔑視

海外での研究生生活を経験されていますが、男女の待遇等について日本と比べて差はありますか？

特集

輝く理工系女子スペシャルインタビュー

～知りたい！理工系女子のホント～

「理（ことわり）」。

（意味：「当然そうなるべき物事の筋道。道理。不変の法則。原理。」）

「理」に魅せられ、「理」に悩み、「理」に恋する女性たちがいます。

なぜ？どうして？どうなっているの？

好奇心と探求心、あるいは冒険心を持ち、鋭い知性としなやかな感性を武器に、多くの疑問・難問・課題に挑み続ける彼女たち。

最近では、「リケジョ（理系女子）」と呼ばれ、活躍の場をますます広げています。

今回は、理工系分野で活躍する女性にスポットをあて、2人のサイエンス・レディにお話を伺いました。

一人目は、郡山市に4月1日オープン予定の独立行政法人産業技術総合研究所の福島再生可能エネルギー研究所に勤務する安川香澄さんです。



プロフィール *profile*

昭和62年に東京大学工学部を卒業し、工業技術院地質調査所（現：産業技術総合研究所）入所。平成26年4月オープンの福島再生可能エネルギー研究所再生可能エネルギーセンターに総括研究主幹として勤務。再生可能エネルギーである地熱エネルギーの研究に取り組む。趣味はタップダンス、バイオリンなど。また、郡山市のスケート場で、ぜひ以前やっていたフィギュアスケートをしたいと意気込む。

理工系分野で学ぶことや研究することの魅力は？

一つあって、私にとって一番の魅力は、ほかの人が知らないことを、実験や測定を通じて、世界で初めて自分だけが知るとい

私の分野ではあまりありません。自然科学という分野では、真実の一つですので、研究そのものに関しては女性の視点といったものは無いと思います。それより、過去の例にとられない自由な発想が大切だと思います。日本ではまだ女性の研究者は少ないので、『女性研究者に変わった人』なんです。だから私がどんな変わったことを言っても、「あの人は変わっているから」と納得してもらえないので、自由に物を言えるような雰囲気があります。他の人と違う意見が言い易いという意味では、女性の視点というより、女性という立場が活きた感じ。それから、状況によっては、女性の方が雰囲気や和み易いという利点もあります。一般向けのイベントなどでは、堅苦しい雰囲気にならないように、優しい人のように振る舞って、和んだ空気をつくる努力をしています。

研究していて、女性の視点が活きる（た）と感ずることは？

の風潮が強いところもありますが、階級による区別もあつたりするんですね。そうすると、ひとたびこちらが研究をしている立場だとわかると、割と丁寧してくれま

理工系を目指す女子の皆さんには、男性もそうですが、理系文系の区別なく、広い視点を持った人になって欲しいと思います。理系を選択している高校・大学生の皆さんは、授業がハードで今は辛いかもしれませんが、その分将来は面白いことがたくさん待っていますから、ちょっと我慢して頑張ってください。

目的が「真理の追究」や「新技術の開発」などですので、文系よりも性別を意識しないことができる仕事が多いと思います。また、女性の少ない分野だからこそ、周りの女性の目を気にしないで自由に行動できるといった魅力もあります。もちろん、少ないながらも女性の同僚はいて、必要なところで助け合っています。

理工系を志す女子学生へのメッセージをお願いします。



うことです。それを発表して「スゴイだろ！」と（笑）。文系だと、実験を通して結果がハッキリ解るといふより、「考察」が多くなってしまうのかな。もう一つは、海外の人と同じ土俵で研究の内容を議論できるということですね。文系の社会的な内容は、社会理念や考え方の基本が異なると、同じ土俵では話せません。その点、理系の自然科学の現象というのは、世界中どこでも同じなので、純粹に海外でも話が通じることが魅力です。

男性ばかりで困ったことは？

困ったことはほとんどありません。本当に困ったのは、大学の実験棟で建物の1箇所にしか女子トイレがなく、地下の実験室で実験していた時に、3階のトイレまで行かなければいけないのが大変だったことくらいです。その建物も現在は建て直され、女子トイレも増えたそうです。良かったことは、女性が少ないので、学会などに行くとき皆さんが

高校生の頃、科目では物理が好きでした。また、理系のほうが専門の事に就けそうなので、理系に進みたいと思っていました。でも当時、数学の成績は最低で、むしろ国語は良かった。だから成績の点で理系に進むのに不安がありました。あるとき伯母が、「女の子に理系は無理よね。」と言っているのを聞いて、「なら、やってみよう」と。ハッキリ決断したのはその時でした。

その一件がなくとも、理系を選択していたとは思いますが、「無理」と言われて選ぶあたりが、理系らしいのかもしれない。



（独）産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所

すぐに覚えてくださることです。研究発表をすると、後で私を見つけてきてくれて、アドバイスをしてくださったり、色々なことを教えていただきました。それがきっかけで、その後も親しくしていた。だき、研究所以外の方々と親しくなれたので、その点は本当に良かったです。

それから、海外に行くとき、懇親会などは立食パーティー形式が多いのですが、日本人男性は一人ポツンと立っていることがよくあります。その点私は、研究者に女性が少ないこともあり、話しかけられる機会も多くて、英語もとても上達しましたし、パーティーで楽しい思いをすることはありませんでした。

取材を終えて



取材前は、安川さんのプロフィールに堅いイメージを抱き、少し気後れしていましたが、インタビューに終始にこやかに、丁寧に答えて頂き、その謙虚で気さくなお人柄に魅了されました。研究の醍醐味は、『まだ誰も知らない事に初めて出逢う、ワクワクする様な喜び』と語り、今でこそ再生可能エネルギーということで注目されていますが、国内ではあまり認知されていなかった地熱エネルギーを、『諦めずにやって来たからこそ、今がある』と、グローバルな活躍をされている姿、眩しく感じました。仕事に趣味に、生きることに貪欲でポジティブな安川さん。今まさに進路等で岐路に立つ、若い人達にこそ、直に聴いて欲しかった。今『活きる』素敵な女性に、この街で出逢えた事に感謝です。

市民編集員

インタビューの二人目は、
日本大学工学部建築学科で学
ぶ星小百合さんです。

星さんが学ぶ建築分野は、
特に女性の割合が少ない分野
の一つです。男性ばかりの環
境ですが、星さんはどのよう
に感じ、どんな意識を持って
学んでいるのでしょうか。お
話を伺いました。

プロフィール profile

平成23年3月に福島県立安積黎明高等学校を卒業後、同年4月に日本大学工学部に入学。建築学科に所属し、主に建築物の鋼構造の長寿命化や高耐震化について学ぶ。趣味は、音楽(中学から高校まで吹奏楽部に所属。)のほかに、友人とコーヒーを飲みながら、最新の建築技術などについて議論すること。



question 工学部建築学科に進んだきっかけは？

私は、数学の計算や理科の実験が小さい頃から好きでした。高校では理系を選択し、特に計算を活かせる物理科目を履修しました。また、物理の先生が面白い方で、より物理学に興味を持ち、そういった分野を学べる工学系に進学しようと思いました。工学部建築学科を選んだ理由は、オープンキャンパスに参加し、新しい建物を設計することで、毎日一つ一つ新しい仕事にチャレンジできるという建築分野の楽しさに憧れを持ったからです。実家から通学できるということもあって、地元の日本大学に進学しました。

また、私は『建物造りはまちづくり』だと思っています。例えば、郡山市にはビッグアイがあります。大きな建物ができることによって、その周りの都市がその建物から影響を受けてどのように発展し、まちをつくっていくのかという意味で社会に貢献できるのが建築の魅力だと思います。

question 男性ばかりで困ったことは？

建築学科の私の学年は、200人ぐらいが学んでいます。そのうち女子は40人ほど。私が選択している建築エンジニアリングという材料や構造を主に学ぶコースは、約80人の学生がいますが、女子は私を含め、5人です。

困ることは、意外とないんです。むしろ、男子は数少ない女子に気遣ってくれて、助かることが多いです。重い物を運ぶ時に進んでやってくれたり。強いて言えば、実験や測量などのグループ演習をするときに、男子ばかりなので相談しにくいといったことはあります。でも、工学部は男子校のような熱気や活気があって、とても楽しいです。



question 学んでいて、男女では発想が異なるな、と感じることは？

設計演習などで製図をするときには、キッチンなどの水回りに関しては女子の方が少し上手だと感じます。また、女子の図面は繊細で綺麗。一方、男子の図面は力強さがあります。

建築は、図面を作成したあと、模型を作りますが、これは男子の方がとても上手です。カッターの扱いが慣れていて、細かい作業も綺麗に仕上げます。女子は苦手とする子が多いですね。

また、女子は現実的な設計をする傾向がありますが、男子は多少無茶な設計をしても、こだわり抜く人が多いように感じます。

question 男は仕事、女は家庭といった考え方についてどう思いますか？

昔はそういった考え方が強かったようですが、現代に見合った考え方ではないと思うので、私は本人が希望するなら女性も働いていくべきだと思います。私は、働きたい意志を強く持っているので、家庭だけでなく、社会にも貢献できる人間になりたいと考えています。専業主婦になりたいと考える人もいらっしゃると思いますが、男子の友達の中には『専業主夫』になりたいという人もいます。働きたいのであれば、男女ともに働いてお互いを尊重し合い、家事を上手に分担していけばいいと思います。

question 将来の夢や目標は何ですか？

今は勉強中の身ですが、いつか世界的に有名な建築物を建てる一員になりたいです。建築はチームプレイなので、多くの人と協力して、世界のランドマークとなるようなものの建造に携わりたいです。

question 理工系分野で学ぶことの魅力は？

何と言っても、座学以外の講義がとても豊富なので私は思います。ノートを取って、講義で学んだことを、すぐその場で実感できることです。

例えば、建物の構造を勉強した帰りに、街にある建物を見て、「ああ、なるほど。そういうことか!」と感じることがあります。また、現場見学会というものがあり、普段目にするのができない施工中の建物を見ることができると、とてもいい経験になります。



question 理工系分野を選択する人を増やすために、学校ではどうするとよいと思いますか？

小学生などの小さい頃から、実験や実技の授業を増やして、自分の目で見て、体感できる科学という世界を知れば、好きになるのではないのかな、と思います。

question 理工系を志す女子中高生へのメッセージをお願いします。

一言で言えば、常に好奇心を持つことを忘れないで欲しいです。理工という分野は、とても勉強し甲斐のある分野なので、すごく充実した毎日を送ることができると思います。毎日、新しい発見に出会えるし、その発見をどうしてそうなのかと自分で突き詰めることによって、更に楽しくなると私は思うので、是非、理系を目指して色々なことに疑問を持って取り組んで欲しいと思います。

取材を終えて



今回、インタビューの中で「建物造りはまちづくりだと思っています。」と溢れる笑顔で話す星さんが印象的でした。理科の実験が大好きだったという星さん。今後、建築に関する専門性をさらに深く追求し、将来は郡山で仕事をしてみたいと意気込みを語っていただきました。インタビューを通して、夢の実現に向けて努力する理工系女子学生のエネルギーに大変感動しました。素敵な機会を頂きありがとうございました。

市民編集員

講演会

講師：鎌田 実 さん(医師・作家)

「生きているって素晴らしい」—命・人権・健康・絆を考える—

▼2月22日(出)



東日本大震災からの復興においても、大変ご尽力され、医師であり、「がんばらない」等の著書でお馴染みの鎌田氏は、地元、長野県茅野市における「健康づくり運動」において、食生活の改善により、脳卒中による死亡率が激減した事を例にあげ、女性の意識改革の大切さについてお話になりました。

また、健康で長生きするためには、「生きがいを持つこと」「仲間・絆を大切にすること」「常に相手の身になって考え、感動や感謝の気持ちを言葉にし、伝え合うこと」「感性を豊かにし、相手を認め、



満員の会場

誉める事で、互いに心を温め合うこと」と説かれ、普段から「幸せホルモン」を出し合う家族になってくださいと力説されました。

満員の会場は、終始、和やかな雰囲気包まれ、楽しい講演会となりました。

参加団体

- ハートフル・バイオリン・アンサンブル
- フルートアンサンブル・ドルチェ
- あじさいフォークダンスクラブ
- 華の舞
- ハワイアン・フラ愛好会
- 華翔クラブ
- 郡山ジャデイス愛好会
- 太極剣研究会
- 友・遊太極拳クラブ



ふれあい発表会

2月23日(日)

さんかくプラザで活動している踊りや音楽のサークルが日頃の練習の成果を発表しました。



展示

2月21日(金)~23日(日)

さんかくプラザで活動している各種団体が、日頃の活動の成果を発表しました。たくさんの方の来場者や参加団体が、展示作品をとおして、交流を深めることができました。

郡山市男女共同参画フェスティバルレポート

日程

平成26年 2月21日(金)~23日(日)

会場

郡山市民文化センター



実施イベント

オープニングセレモニー

▼2月22日(出)

がくとくんとおんぶちゃんの指揮で、来場した市民の皆さんが市民の歌を斉唱しました。

続いて行われた平成25年度郡山市男女共同参画推進事業者表彰式では、男女がともに働きやすい環境づくりなどに積極的に取り組んでおり、男女共同参画社会の形成に寄与していると認められたトヨタカローラ福島(株)が表彰されました。

その後、作文コンクールの表彰式が行われ、各部門の最優秀受賞者による朗読がありました。



品川市長あいさつ

男女共同参画作文コンクール

優秀賞表彰

最優秀賞

中学生の部

『自分らしく』

郡山第一中学校3年

愛未さん

優秀賞

中学生の部

『自分らしく生きる』

郡山第一中学校3年

真生さん

優秀賞

中学生の部

『自分らしく生きる』

郡山第一中学校3年

千佳子さん

優秀賞

中学生の部

『自分らしく生きる』

郡山第一中学校3年

まりあさん

優秀賞

中学生の部

『自分らしく生きる』

郡山第一中学校3年

優花さん

優秀賞

中学生の部

『自分らしく生きる』

郡山第一中学校3年

航大さん

優秀賞

中学生の部

『自分らしく生きる』

郡山第一中学校3年

松崎さん

優秀賞

中学生の部

『自分らしく生きる』

郡山第一中学校3年

松崎さん

優秀賞

中学生の部

『自分らしく生きる』

郡山第一中学校3年

松崎さん

優秀賞

中学生の部

『自分らしく生きる』

郡山第一中学校3年

松崎さん

優秀賞

中学生の部

『自分らしく生きる』

郡山第一中学校3年

松崎さん

優秀賞

中学生の部

『自分らしく生きる』

郡山第一中学校3年

松崎さん

優秀賞

中学生の部

『自分らしく生きる』

郡山第一中学校3年

松崎さん

優秀賞

中学生の部

『自分らしく生きる』

郡山第一中学校3年

松崎さん

優秀賞

中学生の部

『自分らしく生きる』

郡山第一中学校3年

松崎さん

優秀賞

中学生の部

『自分らしく生きる』

郡山第一中学校3年

松崎さん

優秀賞

中学生の部

『自分らしく生きる』

郡山第一中学校3年

松崎さん

優秀賞

中学生の部

『自分らしく生きる』

郡山第一中学校3年

松崎さん

優秀賞

中学生の部

『自分らしく生きる』

郡山第一中学校3年

松崎さん

市内で活動するグループ又は団体の皆さんが、それぞれ企画した講座などを実施し、たくさんの市民が参加しました。



市民自主企画

2月22日(出)~23日(日)

「今時の経済状況における働き方、暮らしについて」

〜ジェンダーの視点から〜

平和と民主主義を守る女たちの会(鳩の会)・女性会議郡山支部

「震災から1年 被災地いづからのメッセージ」講演

特定非営利活動法人 市民メディア・イコール

「歴史のなかにみる女性の生き方」

特定非営利活動法人 ウィメンズスペースふくしま

「東日本大震災被災地における女性の悩み暴力相談」

電話相談から見える福島の実情

特定非営利活動法人 ウィメンズスペースふくしま

「手づくり体験〜作ろう！私だけのアクセサリ〜」

郡山市婦人団体協議会

「地球社会を共に生きる〜海外視察研修報告会〜」

(一社)国際女性教育振興会福島県支部県中地区